

テーマ : 地域活動のこれから

(コミュニティ活動)

第25条 市民は、地域において安心して暮らし続けることができるよう、自主的に自治会等の地縁型コミュニティに参加し、相互に支え合い助け合うものとする。

2 市は、自治会等の地縁型コミュニティの果たす役割を尊重し、その活動の振興に努めるものとする。

(地域づくり組織)

第26条 市民は、個性豊かな地域をつくるため、一定のまとまりのある地域においてその地域の住民等により構成された、包括的な自治組織(以下この条において「地域づくり組織」という。)を設置することができる。

2 地域づくり組織は、市民に開かれたものとし、市その他の組織と連携し、まちづくりを行うものとする。

3 市長は、各種計画の策定及び政策形成に当たっては、地域づくり組織の自主性及び自立性に配慮するとともに、その意思を尊重しなければならない。

4 市長は、地域づくり組織の活動に対して必要な支援を行うことができる。

○福知山市における自治会等の概観(令和3年6月現在)

人口:76,599	世帯数:36,462	自治会数:326
-----------	------------	----------

*高齢者率一覧表

○自治会活動に関するアンケート(H29)

高 齡 者 統 計

令和3年6月30日付

人 口 76,599 人

高齢者人口 23,116 人

高齢化率 30.18%

最高（金山） 58.51%

最低（成仁） 16.56%

ひとり暮らし高齢者 2,426 人

高齢者統計(地区別)令和3年6月30日付

地区	人口	高齢者人口	高齢化率	ひとり暮らし
惇明	9,142	2,372	25.95%	297
昭和	10,247	2,385	23.28%	201
大正	6,421	1,577	24.56%	273
雀部	8,213	2,111	25.70%	181
遷喬	4,863	1,175	24.16%	114
成仁	3,919	649	16.56%	46
佐賀	668	337	50.45%	35
庵我	1,969	812	41.24%	90
下豊富	7,125	2,183	30.64%	138
下川口	696	352	50.57%	39
上豊富	1,740	580	33.33%	54
上六人部	973	450	46.25%	51
中六人部	714	360	50.42%	46
下六人部	5,310	1,072	20.19%	84
上川口	1,417	582	41.07%	66
金谷	820	413	50.37%	44
三岳	441	246	55.78%	53
金山	335	196	58.51%	31
雲原	240	124	51.67%	17
菟原	974	493	50.62%	54
細見	1,558	659	42.30%	71
川合	553	304	54.97%	37
下夜久野	1,267	649	51.22%	102
中夜久野	650	320	49.23%	31
上夜久野	1,210	653	53.97%	55
美河	2,430	963	39.63%	102
美鈴	649	332	51.16%	50
有仁	973	491	50.46%	63
準世帯	1,082	276	25.51%	1
計	76,599	23,116	30.18%	2,426

4. 意見交換 ～地域活動のこれからについて～ 詳細事項

【前回の会議】コロナの影響で自治会の集まりや足立副会長が取り組まれている子育て支援事業が十分にできず。

①コロナの影響も2年目となり長期化

…その中で前回の会議以降、各委員さんがそれぞれ取り組まれたこととお話しいただく。

【自治会長の委員さん】

…市の委嘱業務以外の自治会活動の現状と課題についてお教えてください。

【自治会以外の分野で地域活動に取り組まれている委員さん】

…それぞれの役割と現状、自治会の現状と課題を聞かれたうえで各自の立場から関われることをご意見ください。

②現状と課題をふまえた上で、今後の地域活動のありかたは？

・H29 アンケートより、自治会でやっている活動（分野）を見ると…

①情報共有 ②防火防災 ③防犯 ④清掃 ⑤交通安全 ⑥お祭り・イベント

…は積極的に取り組まれ、

①福祉事業 ②子育て支援 ③仲間づくり ④福利厚生

…は取組が少ない。

課題

・コロナの影響で、①（対面による）情報共有 ⑥お祭り・イベント の実施は厳しい。

*R2 の聞き取りによると、イベントの実施はほぼすべてが中止となっており、

・取組が少ない①福祉事業～④福利厚生はニーズに対して、今の自治会に受け皿なし

★子育て支援などは、地域の子ども会が担っていた部分が大きかった

⇒現状：市子連の休会、子ども会休会

また、子ども会があったとしても、お祭りなどのイベントが活動の主軸であるため、コロナ禍では活動ができない。

★福祉事業・福利厚生について

⇒現状：高齢化・単身世帯増加により、行政や民生児童委員だけでは限界

★仲間づくり

⇒現状：市街地ではすでに隣人が誰かわからないことも

従来は村役などでの人間関係構築があったが、今は意識的に関わらないと地域住民を知ること自体が困難

→その村役などの地域活動もコロナでできず、コロナ長期化で先行きも不透明

⇒以上の現状と課題をふまえ、「自治会をはじめとした地域活動のこれからについて」を話し合い、どうすれば市民参画をすすめていくことができるか考えたいと思います。